

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2002 年 2 月 14 日 (14.02.2002)

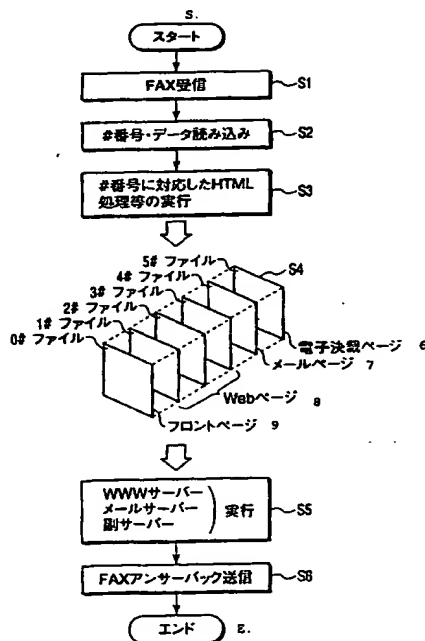
PCT

(10) 国際公開番号
WO 02/13509 A1

- (51) 国際特許分類: H04N 1/00, G06F 17/30 Yasushi [JP/JP]; 〒350-1126 埼玉県川越市旭町3丁目8-44 Saitama (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP00/06579
- (22) 国際出願日: 2000 年 9 月 25 日 (25.09.2000)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ: 特願2000-240069 2000 年 8 月 8 日 (08.08.2000) JP
- (74) 代理人: 鈴江武彦, 外(SUZUYE, Takehiko et al.); 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目7番2号 鈴榮内外国特許法律事務所内 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): CN, KR, SG, US.
- (84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE).
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社 東芝 (KABUSHIKI KAISHA TOSHIBA) [JP/JP]; 〒105-8001 東京都港区芝浦一丁目1番1号 Tokyo (JP).
- 添付公開書類:
— 国際調査報告書
- (72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 相田泰志 (SODA, 2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: METHOD FOR POSTING INTERNET HOME PAGE

(54) 発明の名称: インターネットホームページ掲載方法



S...START
S1...RECEIVE FAX
S2...READ IN NUMBER # AND DATA
S3...EXECUTE HTML PROCESSING CORRESPONDING TO NUMBER #
0...FILE 0#
1...FILE 1#
2...FILE 2#
3...FILE 3#
4...FILE 4#
5...FILE 5#
6...ELECTRONIC PAYMENT PAGE
7...MAIL PAGE
8...Web PAGE
9...FRONT PAGE
S5...EXECUTE WWW SERVER, MAIL SERVER, SUB-S SERVER
S6...TRANSMIT FAX ANSWERBACK
E...END

Best Available Copy

(57) Abstract: Facsimile data to which conversion parameters, i.e. sub-numbers and parentheses are added is inputted from a facsimile unit (20) and transmitted to a server unit (30) through a fixed telephone network (10). The server unit (30) converts the facsimile data into data conforming to description specifications concerned with an internet function with reference to the sub-numbers and parentheses and sets the converted data as data concerned with a home page of the Internet (12).

[続葉有]



(57) 要約:

ファクシミリ装置 20 により、変換パラメータとしてサブ番号及びかっこ記号を付してファクシミリデータを入力し、該入力したファクシミリデータを、固定電話ネットワーク 10 を介して接続されるサーバ装置 30 に送信し、該サーバ装置 30 により、前記ファクシミリデータを、前記サブ番号及びかっこ記号を参照しインターネット機能に係る記述仕様のデータに変換してインターネット 12 のホームページに係るデータとして設定する。

明 細 書

インターネットホームページ掲載方法

【技術分野】

本発明は、ファクシミリ装置を利用してインターネットホームページを掲載する方法、通信サービスシステム、サーバ装置及びその制御方法並びに記憶媒体に関する。

【背景技術】

近時、インターネットのホームページ等の機能を用いて商取引を行う事業が進展しているが、該事業を掲載するにはパーソナルコンピュータと通信モデムを設置し、インターネットプロバイダーと契約し、インターネット機能に係る記述仕様、例えばホームページ作成に係るHTMLの習得が必要となる。

このため小規模事業者、例えば家族経営の小売商店では、上述したインフラ導入や知識の習得が難しい場合が多く、インターネットのホームページ掲載等を行いたくても、いわゆる敷居が高く、掲載を困難にしていた。

上述したように、従来、インターネットのホームページ掲載等を行う場合は、特別のインフラ導入や知識の習得を必要としたため、小規模事業者等では、掲載を困難にしているものがあつた。

【発明の開示】

本発明の目的は、特別のインフラ導入や知識の習得を必要としないで、インターネットのホームページ掲載等の機能を享受できるようにしたインターネットホームページ掲載方

法、通信サービスシステム、サーバ装置及びその制御方法並びに記憶媒体を提供することにある。

上記目的を達成するために請求項 1 に係る発明は、ファクシミリ装置により、変換パラメータが付されたファクシミリデータを、電話ネットワークを介して接続されるサーバ装置に送信し、

該サーバ装置により、前記ファクシミリデータが、前記変換パラメータを参照しインターネット機能に係る記述仕様のデータに変換され前記インターネットのホームページに係るデータとして設定されるインターネットホームページ掲載方法、である。

請求項 2 に係る発明は、ネットワークにサーバ装置及びファクシミリ装置が接続されてなる通信サービスシステムにおいて、

前記ファクシミリ装置は、変換パラメータが付されたファクシミリデータを前記ネットワークに送信する手段を具備し、

前記サーバ装置は、前記ファクシミリ装置から送信されたファクシミリデータを、予め保持した変換パラメータに係るデータを参照してインターネット機能に係る記述仕様のデータに変換する手段とを具備することを特徴とする通信サービスシステムである。

請求項 3 に係る発明は、請求項 2 記載の通信サービスシステムにおける前記変換パラメータが、ファクシミリ番号に付加するサブ番号であることを特徴とする。

請求項 4 に係る発明は、請求項 2 記載の通信サービスシステムにおける前記変換パラメータが、ファクシミリ原稿に記述される記号であることを特徴とする。

請求項 5 に係る発明は、ネットワークに接続されたサーバ装置において、

ファクシミリデータを送受信する手段と、

インターネット機能に係る記述仕様とファクシミリデータとを相互に変換するための変換パラメータに係るデータを保持する手段と、

前記ファクシミリ装置から送信されたファクシミリデータを、前記保持された変換パラメータに係るデータを参照してインターネット機能に係る記述仕様のデータに変換する手段と

を具備することを特徴とする。

請求項 6 に係る発明は、請求項 5 記載のサーバ装置における前記変換手段が、電子文書用マークアップ言語データとファクシミリデータとを相互に変換する手段を具備することを特徴とする。

請求項 7 に係る発明は、請求項 5 又は 6 記載のサーバ装置における前記変換手段が、前記変換手段は、電子メールデータとファクシミリデータとを相互に変換する手段を具備することを特徴とする。

請求項 8 に係る発明は、請求項 5 乃至 7 のいずれか一項記載のサーバ装置において、更に、前記ネットワークを介して電子メールデータを受信し、該受信した電子メールデータを

ファクシミリデータに変換して前記ファクシミリ装置に送信すると共に前記ファクシミリ装置からのファクシミリデータを受信し、該受信したファクシミリデータを電子メールデータに変換して前記電子メールデータの送信元に送信する電子メール送受信手段を具備することを特徴とする。

請求項 9 に係る発明は、ネットワークに接続されたサーバ装置の制御方法において、

ファクシミリデータを送受信するステップと、

インターネット機能に係る記述仕様とファクシミリデータとを相互に変換するための変換パラメータに係るデータを保持するステップと、

前記ファクシミリ装置から送信されたファクシミリデータを、前記保持された変換パラメータに係るデータを参照してインターネット機能に係る記述仕様のデータに変換するステップとを具備することを特徴とする。

請求項 10 に係る発明は、ネットワークに接続されたサーバ装置に使用されるコンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、

ファクシミリデータを送受信するステップと、

インターネット機能に係る記述仕様とファクシミリデータとを相互に変換するための変換パラメータに係るデータを保持するステップと、

前記ファクシミリ装置から送信されたファクシミリデータを、前記保持された変換パラメータに係るデータを参照してインターネット機能に係る記述仕様のデータに変換する

ステップと

を実行させるためのプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体、である。

本発明において、サーバ装置は、ファクシミリデータをインターネット機能に係る記述仕様のデータに変換することができる。この変換に際し、サーバ装置は、ファクシミリデータに付された変換パラメータを参照することにより、適格にインターネット機能に係る記述仕様のデータに変換することができる。従って、小規模事業者であっても、既存のファクシミリ装置を用いることにより、インターネットの諸機能、例えばホームページを容易に掲載することができるようになる。

【図面の簡単な説明】

図 1 は、本発明の一実施形態に係るファクシミリ装置を用いた電子商取引方法を実施することができるシステムを示す図。

図 2 は、同実施形態におけるサーバ装置の詳細を示すブロック図。

図 3 は、同実施形態における契約者毎のファイルの形態を示す模式図。

図 4 は、同実施形態における Web ページを示す模式図。

図 5 は、同実施形態におけるサーバ装置の動作を示す流れ図。

図 6 は、同実施形態におけるホームページ掲載のためのユーザの操作手順を示す流れ図。

図 7 A ～ 図 7 C は、同実施形態におけるユーザにより作成される契約及びホームページ掲載のためのファクシミリ原稿の一例を示す図。

図 8 は、ホームページの表示例を示す図。

図 9 は、サーバ装置がユーザに送付するホームページ確認のためのファクシミリ原稿の一例を示す図。

図 10 は、同実施形態における閲覧者からの電子メール送信に対するサーバ装置の動作を示す流れ図。

図 11 は、同実施形態におけるユーザからの電子メール送信に対するサーバ装置の動作を示す流れ図。

図 12 は、同実施形態における閲覧者から送信された電子メール原稿の一例を示す図。

図 13 は、同実施形態におけるユーザから送信された電子メール用ファクシミリ原稿の一例を示す図。

図 14 は、本発明におけるサーバ装置と記憶媒体との関係を示す図。

[発明を実施するための最良の態様]

以下、本発明に係るインターネットホームページ掲載方法、通信サービスシステム、サーバ装置及びその制御方法並びに記憶媒体の各実施形態を、図面を参照して説明する。

図 1 は本実施形態に係る、ファクシミリ装置を用いた電子商取引方法を実施することができるシステム、換言するとファクシミリ装置を用いてインターネットホームページを掲載することができる通信サービスシステムの構成図である。

図 1 に示すように本実施形態の通信サービスシステムは、

ネットワークとして固定電話ネットワーク 10、携帯電話ネットワーク 11 及びインターネット 12 に、ファクシミリ装置 20、本実施形態のサーバ装置 30 を含む A S P (アプリケーション・サービス・プロバイダ) 30' が接続されている。

また、固定電話ネットワーク 10 及びインターネット 12 には、プロバイダ 13 による専用回線を介してパーソナルコンピュータ等の情報端末 21 が接続され、該情報端末 21 はインターネット機能を享受するものとなっている。

さらに、固定電話ネットワーク 10 には情報端末 22 が接続され、例えばプロバイダ 13 に対するアクセス又は情報端末 21 に対するアクセスが可能となっている。

また携帯電話ネットワーク 11 の基地局 11 A を介して携帯電話機等の携帯情報端末機 23 が、固定電話ネットワーク 10 及びインターネット 12 に接続されている。この携帯情報端末機 23 は、携帯電話ネットワーク 11 が装備する簡易又は汎用ブラウザを介して、A S P 30' 又はプロバイダ 13 とのアクセス、情報端末 21、22 とのアクセスが可能となっている。

ファクシミリ装置 20 は、固定電話ネットワーク 10 との間でファクシミリデータを授受するものであって、ファクシミリ送信に際してはファクシミリデータをインターネット機能に係る記述仕様とファクシミリデータとの間の相互変換を定義する変換パラメータが、ファクシミリデータに付される。この変換パラメータとしては、後述するようにファク

シミリ番号に付加するサブ番号が一例である。

また、ASP30'は、インターネット12を経由してデータを授受すると共に該授受データ夫々に前記変換パラメータを参照してインターネット機能に係る記述仕様と前記ファクシミリデータとの相互変換処理を適用する。

ここで、図2を参照してASP30'のサーバ装置30を詳細に説明する。図2に示すように、サーバ装置30は、電話・FAX送受信部31と、FAX番号／HTML変換処理装置32と、データベース33と、電話機34と、ディスプレイ35と、キャラクタ抽出部36と、FAX原稿作成部37と、WWWサーバ40と、電子メールサーバ41と、副サーバ42とを具備する。

電話・FAX送受信部31は、固定電話ネットワーク10に接続されファクシミリ装置20との間でのファクシミリデータの授受を行う。電話・FAX送受信部31は、受信に際しては音声ガイドにより送信元に対し原稿にサブ番号(0#～5#)の付与を要請するものとする。

FAX番号／HTML変換処理装置32は、ファクシミリ装置20から送信されてきた変換パラメータ、例えば、ファクシミリ番号に付加する音声ガイドに従うサブ番号(0#～5#)が付されたファクシミリデータを抽出し、該サブ番号に基づきファクシミリデータをインターネット機能に係る記述仕様、つまりHTML記述仕様に従ったデータに変換する。

データベース33は、上述した変換パラメータ、契約者デ

ータをはじめとする各種データを保持するものであり、図 3 に示すような契約者毎のファイルを保持している。図 3 に示す契約者毎のファイルの一例を説明すると、この契約者ファイルは、契約者と A S P 3 0 との間の契約、手続き、処理をはじめとする一般事項を記録する 0 井ファイルと、1 ページ目のホームページを記録する 1 井ファイル、2 ページ目のホームページを記録する 2 井ファイル、3 ページ目のホームページを記録する 3 井ファイル、電子メール情報を記録する 4 井ファイル、電子決済に係るデータを記録する 5 井ファイルからなる。

ここで、《 》で例示される第 1 かっこ 1 0 1 の開始記号と終了記号との間には非ホームページ情報が記録され、『 』で例示される第 2 かっこ 1 0 2 の開始記号と終了記号との間にはホームページ情報が記録される。

図 4 は、契約者ファイルのうちホームページを記録する 1 井ファイル (W e b 第 1 ページ)、2 井ファイル (W e b 第 2 ページ) 及び 3 井ファイル (W e b 第 3 ページ) を詳細に示すものであり、W e b ページ夫々に付された、[] で例示される第 3 かっこ 1 0 3 の開始記号と終了記号との間の情報は、リンクがとられる。

上述した第 1 かっこ 1 0 1、第 2 かっこ 1 0 2、第 3 かっこ 1 0 3 に相当する記号は、契約者又は契約をしようとする者が、ファクシミリ装置 2 0 に入力するファクシミリ原稿の各頁に付すものである。ただし、記号を付す形態は、手書き、シールの貼り付け等の各種態様があり、後述するキャラクタ

抽出部 36 が抽出可能であれば、何ら形式及び形態を問うものではない。

契約者又は契約をしようとする者が、ファクシミリ装置 20 に入力するファクシミリ原稿は、任意の用紙に、上述した第 1 かっこ 101、第 2 かっこ 102、第 3 かっこ 103 に相当する記号が付されたものであり、この記号夫々の開始記号と終了記号との間に情報を記載する。

また図 2 に戻り、電話機 34 は、ASP 30 の係員と、電話・FAX 送受信部 31 を介してファクシミリ装置 20 を使用している契約者又は契約をしようとする者との間で、契約、手続き、処理等を、電話による会話にて行うものである。

ディスプレイ 35 は、ASP 30 の係員に対するデータの表示を行うものであり、ファクシミリ装置 20 から送信されてきたファクシミリデータ、ファクシミリ装置 20 に送信すべきファクシミリデータをはじめとする各種データを表示する。

キャラクタ抽出部 36 は、ファクシミリ装置 20 から送信されてきたファクシミリデータ（イメージデータ）から特定のキャラクターデータ、例えば前述した第 1 かっこ 101、第 2 かっこ 102、第 3 かっこ 103 を抽出するものである。

サーバとしては、WWW サーバ 40 及び電子メールサーバ 41 を備えると共に、インターネットの機能として例えば電子決済や掲示板システム等を実現するための副サーバ 42 を備え、これらはインターネット 12 に接続される。

図 5 は、本実施形態に係る ASP 30 の動作を示してお

り、ファクシミリ装置 20 とサーバ装置 30 との信号授受及び制御方法を示している。

ステップ S 1 では、契約者又は契約をしようとする者によってファクシミリ装置 20 が操作され、ファクシミリ番号に音声ガイドに従うサブ番号（0 号～5 号）を付して原稿読み取りが行われる。この原稿は、任意の用紙に上述した第 1 かつこ 101、第 2 かつこ 102、第 3 かつこ 103 に相当する記号が付され且つ該記号夫々の開始記号と終了記号との間に情報が記載されたものである。

かかるファクシミリ装置 20 により読み取られたファクシミリ原稿は、ASP 30 のサーバ装置 30 の電話・FAX 送受信部 31 にて受信される。このとき、

ステップ S 2、S 3 では、FAX 番号／HTML 変換処理装置 32、データベース 33 及びキャラクタ抽出部 36 が動作して、電話・FAX 送受信部 31 により受信したファクシミリデータと共にサブ番号（0 号～5 号）の認識を行うと共に、当該ファクシミリデータから第 1 かつこ 101、第 2 かつこ 102、第 3 かつこ 103 の抽出を行う。

ステップ S 4 では、これらサブ番号（0 号～5 号）の認識処理及びかつこの抽出処理により、HTML に従ったデータを、図 3 に示す契約者ファイルの該当範囲に貼り付ける。

ステップ S 5 では、上述によりファクシミリ装置 20 により読み取られたファクシミリ原稿が、WWW サーバ 40、電子メールサーバ 41 及び副サーバ 42 の記述仕様に従ったデータ及びファイルに変換され、各サーバによりホームペー

ジ閲覧可能となり、電子メール送信が行われたことになる。

ステップ S 6 では、閲覧可能となったホームページを、FAX 原稿作成部 37 によりファクシミリデータに再変換して、送信元であるファクシミリ装置 20 に確認画像として送信する。

図 6 は、契約者又は契約をしようとする者によるファクシミリ装置 20 の操作を示しており、ステップ T 1 は、本発明のインターネットホームページ掲載サービスを、契約をしようとする者が当該サービスを、放送媒体や新聞媒体等により認知するステップである。このステップの後、契約をしようとする者は、契約申し込み文、ホームページ用ファクシミリ原稿を作成する。

図 7 A は、契約申し込み文の原稿例を示しており、音声ガイドに従ってサブ番号 0 井が付され、当該原稿中に第 1 かつこ記号 1 0 1 〃が付されている。この第 1 かつこ記号 1 0 1 〃の開始記号と終了記号との間には、データベース 33 に登録され且つディスプレイ 35 に表示されるがホームページ情報としては扱われない情報を記載する。

図 7 B は、Web 第 1 ページの原稿例を示しており、音声ガイドに従ってサブ番号 1 井が付され、当該原稿中には、第 1 かつこ記号 1 0 1 〃、第 2 かつこ記号 1 0 2 〃、第 3 かつこ記号 1 0 3 〃が付されている。この第 2 かつこ記号 1 0 2 〃の開始記号と終了記号との間には、データベース 33 に登録され且つディスプレイ 35 に表示され且つホームページ情報として扱われる情報を記載する。この情報としては、

イメージデータとして扱われるので、手書き文字、印刷文字、写真等の多様な絵図が許容される。

この第2カッコ記号102'内には、さらに第3カッコ記号103'が付される。この第3カッコ記号103'の開始記号と終了記号との間の情報はリンク関係形成される。

図7Cは、Web第2ページの原稿例を示しており、音声ガイドに従ってサブ番号2#が付され、当該原稿中には、第1カッコ記号101'、第2カッコ記号102'、第3カッコ記号103'が付されている。この第2カッコ記号費102'の開始記号と終了記号との間には、データベース33に登録され且つディスプレイ35に表示され且つホームページ情報として扱われる情報を記載する。この第2カッコ記号102'内には、さらに第3カッコ記号103'が付されるが、このWeb第2ページの第3カッコ記号103'の情報と、Web第1ページの第3カッコ記号103'の情報とはリンク関係が形成される。

ステップT3にて、以上のようなファクシミリ原稿がファクシミリ装置20により読み取られASP30'のサーバ装置30の電話・FAX送受信部31に送信する。

次に、ステップT4にて、FAX番号／HTML変換処理装置32、データベース33及びキャラクタ抽出部36が動作して、電話・FAX送受信部31により受信したファクシミリデータと共にサブ番号(0#～5#)の認識を行うと共に、当該ファクシミリデータから第1カッコ101、第2カッコ102、第3カッコ103の抽出が行われ、サブ番号(0

井～５井）の認識処理及びかつこの抽出処理により、HTMLに従ったデータが、図３に示す契約者ファイルの該当範囲に貼り付けられ、WWWサーバ４０、電子メールサーバ４１及び副サーバ４２の記述仕様に従ったデータ及びファイルに変換され、各サーバによりホームページ閲覧可能となる。

また、ステップＴ５にて、ASP３０の係員は、電話機３４により送信元と会話し、またディスプレイ３５に表示された、例えば図８に示す表示例（Web第１ページ）を参照する等により修正等を施し、図９に示すような、ファクシミリデータによる確認画像を送信元に送信し、ステップＴ６にて登録を完了する。

この登録により、ホームページアドレス名が付され（例えばURL：<http://www.□×.co.jp/>）、また電子メールアドレス名が付され（例えば○×.asp.co.jp）、該アドレスと共に、図３に示す契約者ファイルがデータベース３３に保存される。

一般のユーザ、例えば図１に示す情報端末２１、２２は、ASP３０を介してURL：<http://www.□×.co.jp/>をアクセスすることにより、当該ホームページの閲覧が可能となる。

以上のように本実施形態によれば、契約者又は契約をしようとする者が、かつこ記号を付したファクシミリ原稿を、音声ガイドに従ってファクシミリ装置２０によりASP３０にファクシミリ送信することにより、簡単に、ホームページを掲載することが可能となる。この場合、一般のユーザは、

このホームページ掲載者を、URL: <http://www.□×.co.jp/>で認識することになり、掲載手法はファクシミリ送信で行うもののパーソナルコンピュータ及びモデムを装備し、HTMLより掲載した場合と同じ結果となる。

また、ホームページの更新を行う場合、例えばWeb第2ページを更新する場合は、当該原稿に必要な第1かっこ記号101[′]、第2かっこ記号102[′]、第3かっこ記号103[′]を付して、ファクシミリ原稿を送信する際のサブ番号を音声ガイドに従って2井として、送信するだけで、図3に示す契約者ファイルのWeb第2ページに相当するファイルが更新されることになり、該更新されたホームページが閲覧可能となる。

さらに、ファクシミリ原稿とHTMLとの間の変換、ホームページ情報及び非ホームページ情報の抽出は、サーバ装置30内でサブ番号及びかっこ記号の分析で行うようにしているが、レイアウトの詳細等はASP30[′]の係員と送信元とが電話機34により会話して調整することができるので、情報機器の操作に不慣れな者にとっては極めて好都合である。

以上は、ファクシミリ装置によりインターネット機能を享受する一例として、ホームページ掲載を例示したが、電子メール機能も同様に、サブ番号を付したファクシミリ装置によるファクシミリ送受信により享受することができる。

図10は、情報端末21、22を操作する一般のユーザからファクシミリ装置20に電子メールを送信するフローチ

ャートである。

ステップU 1で、ステップU 1で、情報端末2 1、2 2を操作する一般のユーザは、電子メールアドレス（例えば〇×.@ asp.co.jp）にて、図1 2に示すような電子メールをASP 3 0のサーバ装置3 0に送信する。

ステップU 2で、サーバ装置3 0の電子メールサーバ4 1は、FAX番号／HTML変換処理装置3 2にデータを送り、ここで、当該電子メールはファクシミリ装置2 0に送信すべきことが認識でき、この電子メールデータを、図3に示す契約者ファイルの電子メールファイルに4 井又は4 1井として書き込む。FAX原稿作成部3 7は、契約者ファイルの電子メールファイルに書き込まれた電子メールデータを、図1 3に示すようなFAX原稿に変換する。

ステップU 3で、電話・FAX送受信部3 1は、電子メール原稿を変換したFAX原稿をファクシミリ装置2 0に送信する。

これにより、情報端末2 1、2 2を操作する一般のユーザからの電子メールを、ファクシミリ装置2 0を操作する契約者は、ファクシミリ原稿にて読むことができる。この場合、電子メール送信元のアドレス等は、次に述べる返信の際に必要となるので、データベース3 3に保存される。

図1 1は、ファクシミリ装置2 0を操作する契約者から、情報端末2 1、2 2を操作する一般のユーザに電子メールを送信するフローチャートである。

ステップV 1で、ファクシミリ装置2 0を操作する契約者

は、電子メールアドレス先に送信されてきた電子メールアドレスに相当するあて先をファクシミリ装置 20 にて、4 井又は 4 1 井を付してサーバ装置 30 に送信する。

ステップ V 2 で、サーバ装置 30 の F A X 番号 / H T M L 変換処理装置 32 は、ファクシミリデータを電子メールデータに変換すると共に付されたサブ番号 4 井又は 4 1 井に従って図 3 に示す契約者ファイルの 4 井又は 4 1 井に対応するファイルに、該データを書き込む。

ステップ V 3 で、4 井又は 4 1 井に対応するファイルに書き込まれた電子メールデータにデータベース 33 によって電子メールアドレスを付したデータは、電子メールサーバ 41 により情報端末 21、22 を操作する一般のユーザに送信する。

これにより、ファクシミリ装置 20 を操作する契約者は、情報端末 21、22 を操作する一般のユーザに対し、ファクシミリ装置 20 によるファクシミリ原稿の形で電子メール送信することができる。

図 10 及び図 11 の操作により、契約者は、ファクシミリ装置 20 によって、一般のインターネットユーザに電子メールを送信することができ、ホームページで広告した商品等の注文を受けることができる。

上述の例では、インターネット機能に係る記述仕様とファクシミリデータとの間の相互変換を定義する変換パラメータとして、音声ガイドによるサブ番号と、用紙に記したかつこ記号であった。

しかし、これに限ることなく、前述したサブ番号及び／又はかっこ記号を示す情報をバーコード又は認識記号化し、該バーコード又は認識記号を直接又はシールにてファクシミリ原稿に貼り付けると共に、サーバ装置 30 にイメージデータのバーコード又は認識記号の情報を抽出する手段を設けることにより、同様の作用を得ることができる。

尚、サーバ装置 30 の構成は、ハードウェア構成であるかソフトウェア構成であるかは問うものではない。ソフトウェア構成の場合は、図 14 に示すように、記憶媒体 50 又はネットワークからプログラムをコンピュータにインストールし、このプログラムの指示に基づき当該コンピュータ上で稼働している OS（オペレーティングシステム）や、データベース管理ソフト、ネットワークソフト等の MW（ミドルウェア）等を動作可能とすることにより、本実施形態のサーバ装置 30 を構成するようにしても良い。

また、記憶媒体としては、磁気ディスク、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク（CD-ROM、CD-R、DVD 等）、光磁気ディスク（MO 等）、半導体メモリ等、プログラムを記憶でき且つコンピュータ等が読み取り可能な記憶媒体であれば、その記憶形式は何れの形態であっても良い。

さらに、本発明における記憶媒体は、コンピュータと独立した媒体に限らず、LAN やインターネット等により伝送されたプログラムをダウンロードして記憶又は一時記憶した記憶媒体も含まれる。

また、記憶媒体は1つに限らず、複数の媒体から本実施形態における処理が実行される場合も本発明における記憶媒体に含まれ、媒体構成は何れの構成であっても良い。

尚、本発明におけるコンピュータ、サーバ等は、記憶媒体に記憶されたプログラムに基づき、本実施形態における各処理を実行するものであって、一つのコンピュータ、サーバからなる装置、複数の装置がネットワーク接続されたシステム等の何れの構成であっても良い。

また、本発明におけるコンピュータ等にあつては、情報処理機器に含まれる演算処理装置、マイクロコンピュータ等も含み、プログラムによって本発明の機能を実現することが可能な機器、装置を総称している。

さらに、変換し、又は変換される電子文書用マークアップ言語の例として、上記ではHTMLを例示したが、SGML、XMLやXHTMLにも適用できるものである。

[産業上の利用の可能性]

以上のように本発明によれば、特別のインフラ導入や知識の習得を必要としないで、インターネットのホームページ掲載等の機能を享受できるようにしたインターネットホームページ掲載方法、通信サービスシステム、サーバ装置及びその制御方法並びに記憶媒体を提供することができる。

請求の範囲

1. ファクシミリ装置により、変換パラメータが付されたファクシミリデータを、電話ネットワークを介して接続されるサーバ装置に送信し、

該サーバ装置により、前記ファクシミリデータが、前記変換パラメータを参照しインターネット機能に係る記述仕様のデータに変換され前記インターネットのホームページに係るデータとして設定されるインターネットホームページ掲載方法。

2. ネットワークにサーバ装置及びファクシミリ装置が接続されてなる通信サービスシステムにおいて、

前記ファクシミリ装置は、変換パラメータが付されたファクシミリデータを前記ネットワークに送信する手段を具備し、

前記サーバ装置は、前記ファクシミリ装置から送信されたファクシミリデータを、予め保持した変換パラメータに係るデータを参照してインターネット機能に係る記述仕様のデータに変換する手段とを具備することを特徴とする通信サービスシステム。

3. 前記変換パラメータは、ファクシミリ番号に付加するサブ番号であることを特徴とする請求項2の通信サービスシステム。

4. 前記変換パラメータは、ファクシミリ原稿に記述される記号であることを特徴とする請求項2の通信サービスシステム。

5. ネットワークに接続されたサーバ装置において、ファクシミリデータを送受信する手段と、

インターネット機能に係る記述仕様とファクシミリデータとを相互に変換するための変換パラメータに係るデータを保持する手段と、

前記ファクシミリ装置から送信されたファクシミリデータを、前記保持された変換パラメータに係るデータを参照してインターネット機能に係る記述仕様のデータに変換する手段と

を具備することを特徴とするサーバ装置。

6. 前記変換手段は、電子文書用マークアップ言語データとファクシミリデータとを相互に変換する手段を具備することを特徴とする請求項5のサーバ装置。

7. 前記変換手段は、電子メールデータとファクシミリデータとを相互に変換する手段を具備することを特徴とする請求項5のサーバ装置。

8. 前記ネットワークを介して電子メールデータを受信し、該受信した電子メールデータをファクシミリデータに変換して前記ファクシミリ装置に送信すると共に前記ファクシミリ装置からのファクシミリデータを受信し、該受信したファクシミリデータを電子メールデータに変換して前記電子メールデータの送信元に送信する電子メール送受信手段を更に具備することを特徴とする請求項5のサーバ装置。

9. ネットワークに接続されたサーバ装置の制御方法において、

ファクシミリデータを送受信するステップと、

インターネット機能に係る記述仕様とファクシミリデータとを相互に変換するための変換パラメータに係るデータを保持するステップと、

前記ファクシミリ装置から送信されたファクシミリデータを、前記保持された変換パラメータに係るデータを参照してインターネット機能に係る記述仕様のデータに変換するステップと

を具備することを特徴とするサーバ装置の制御方法。

10. ネットワークに接続されたサーバ装置に使用されるコンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、

ファクシミリデータを送受信するステップと、

インターネット機能に係る記述仕様とファクシミリデータとを相互に変換するための変換パラメータに係るデータを保持するステップと、

前記ファクシミリ装置から送信されたファクシミリデータを、前記保持された変換パラメータに係るデータを参照してインターネット機能に係る記述仕様のデータに変換するステップと

を実行させるためのプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

1/10

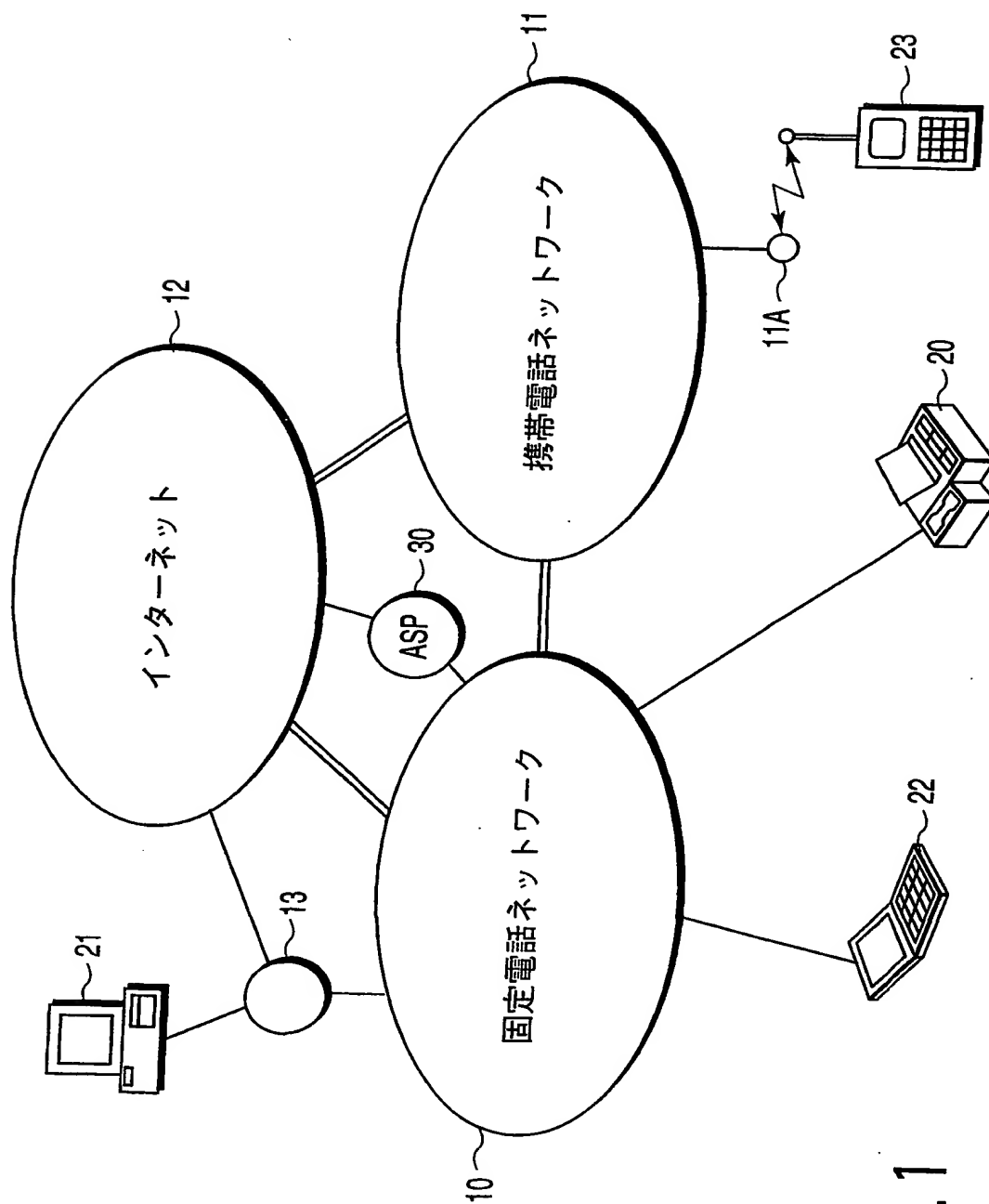


FIG.1

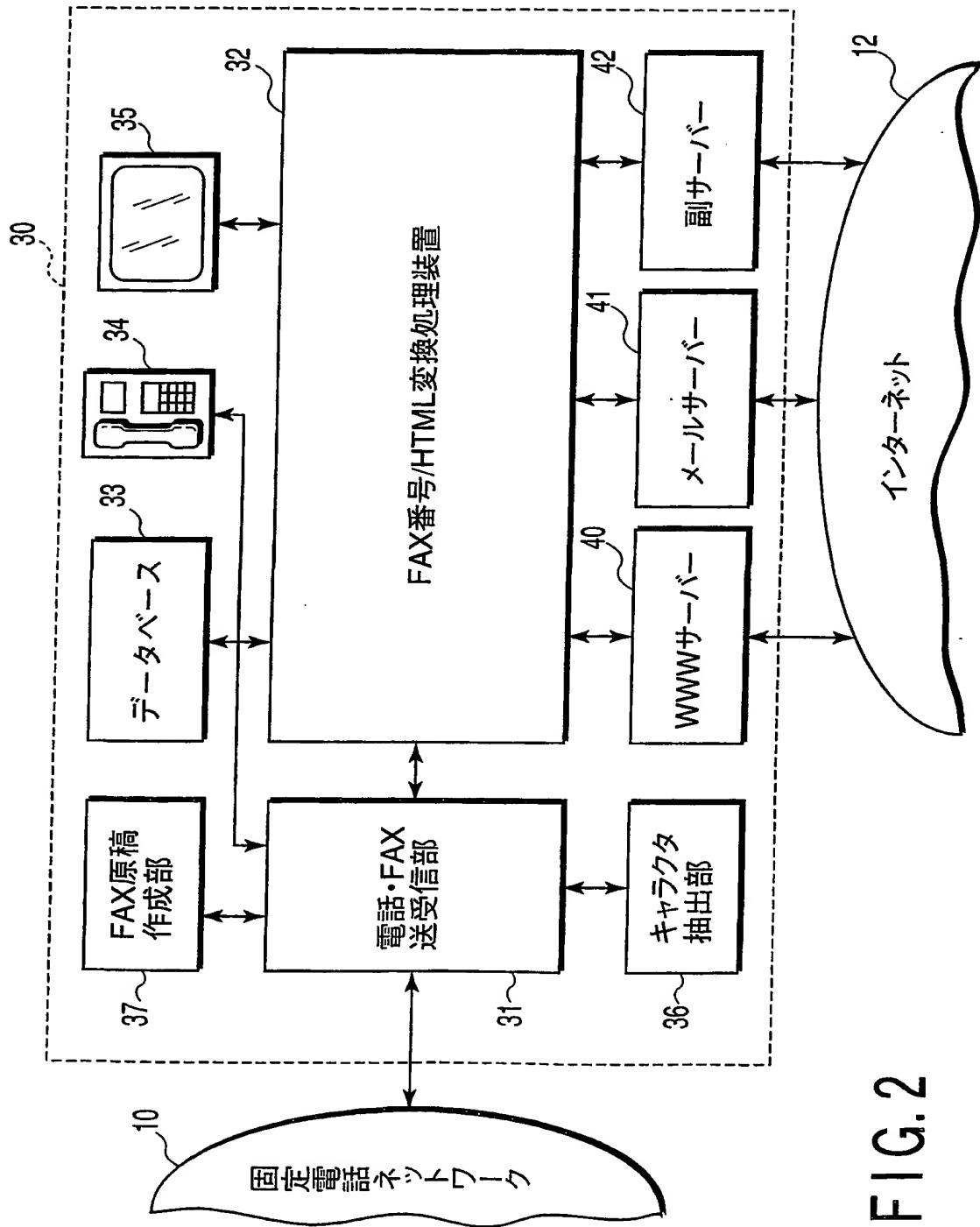
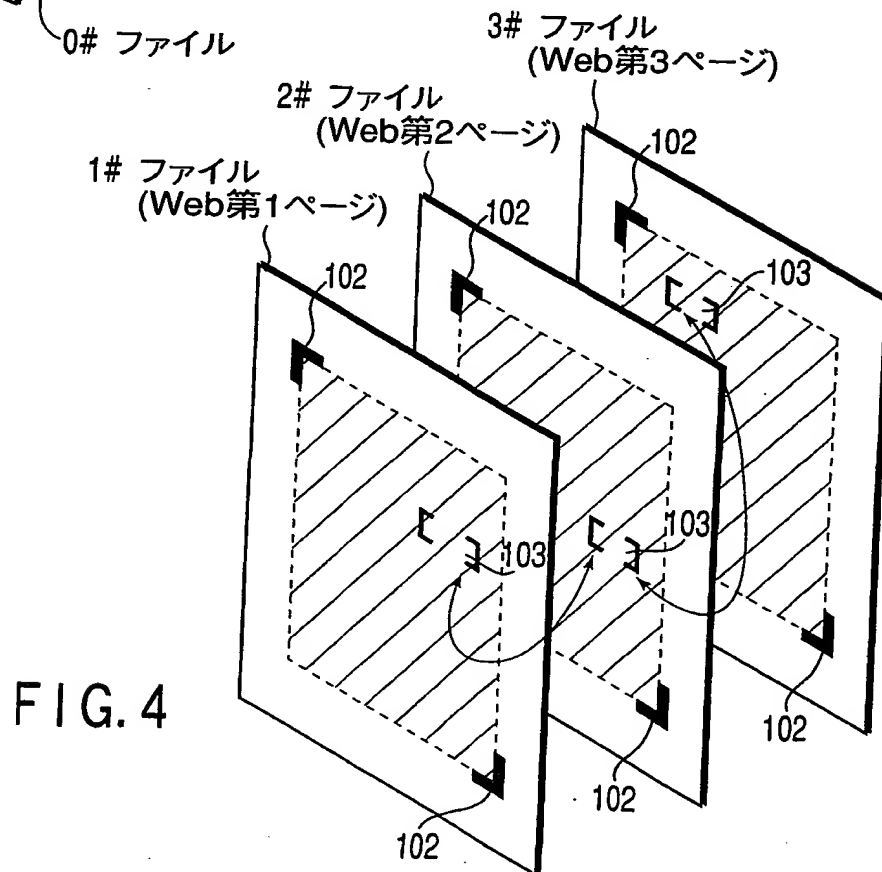
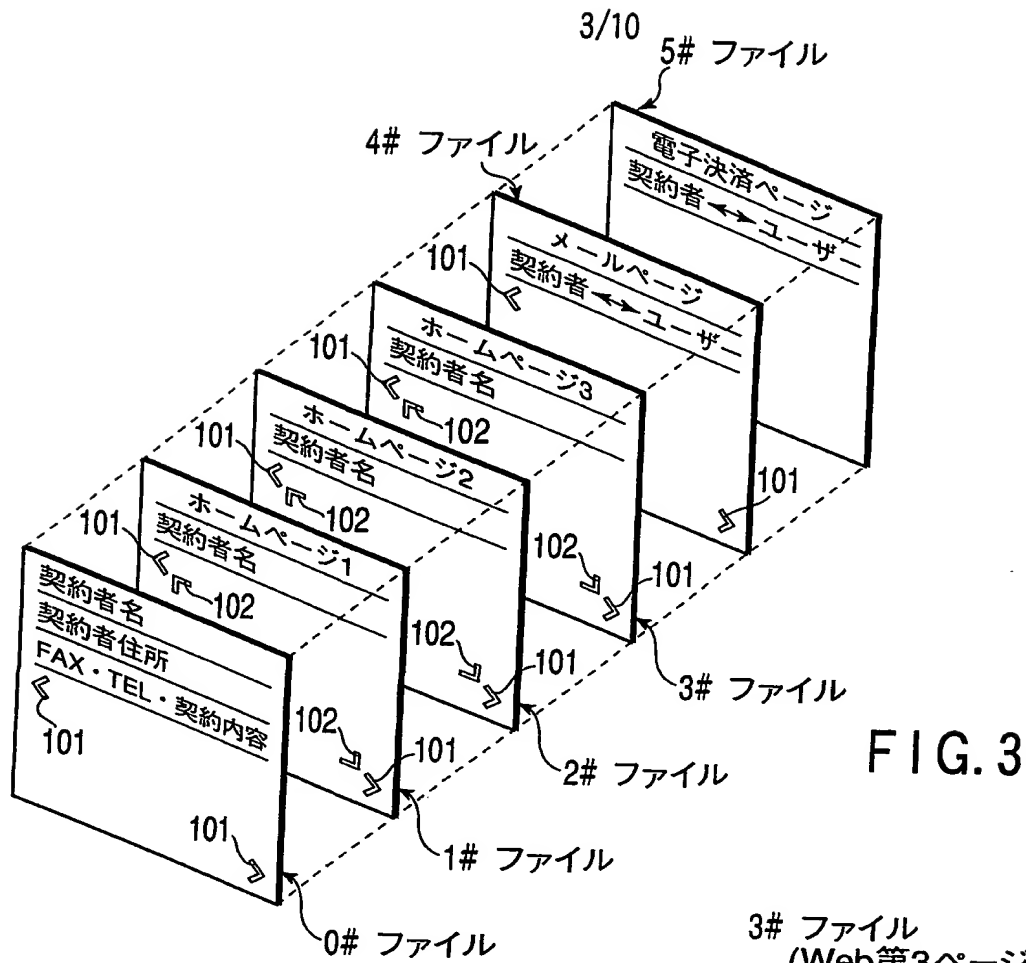


FIG. 2



4/10

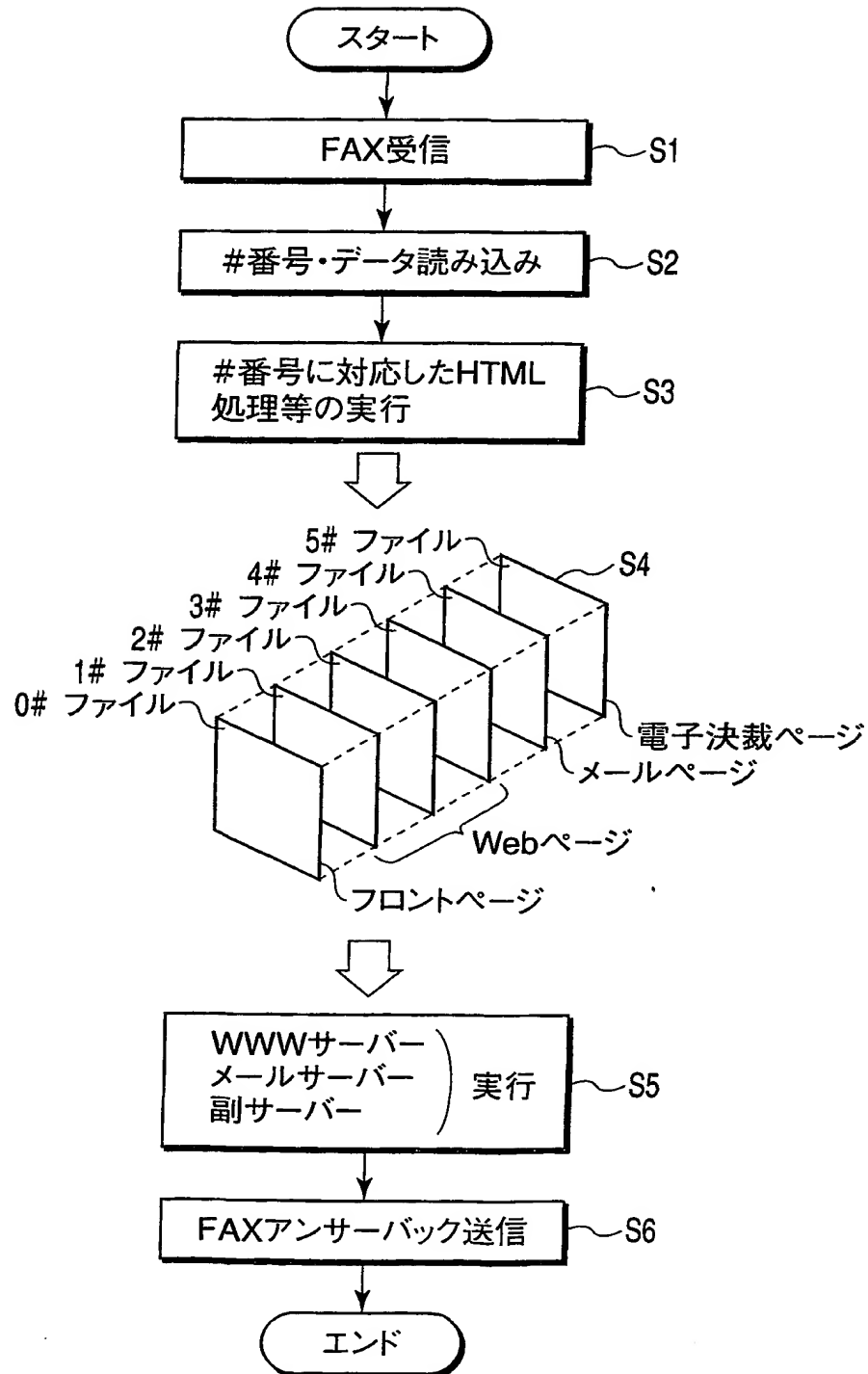


FIG. 5

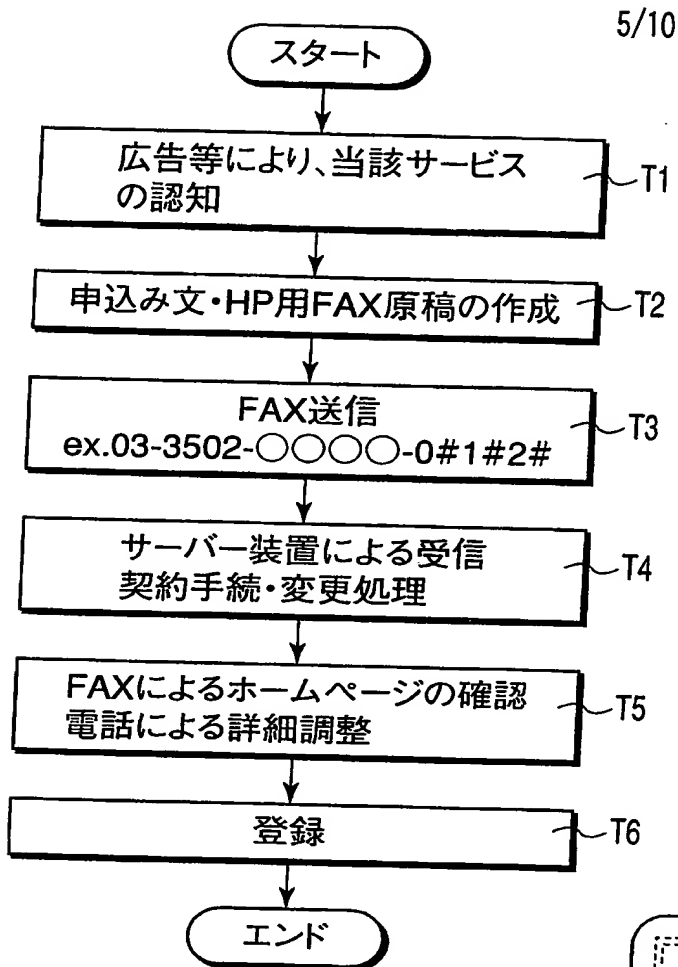


FIG. 6

1/3

東京地酒が数多く揃っている!

(有)〇×酒店

当店は、～

です。

写真

〒○○○○-○○○○

東京都港区〇〇××-□□-△△

TEL 03-3502-XXXX

FAX 03-3502-□□□□

URL: <http://www.□×.co.jp/>

E-mail: 〇×.ASP.co.jp

FIG. 8

6/10

FIG. 7A

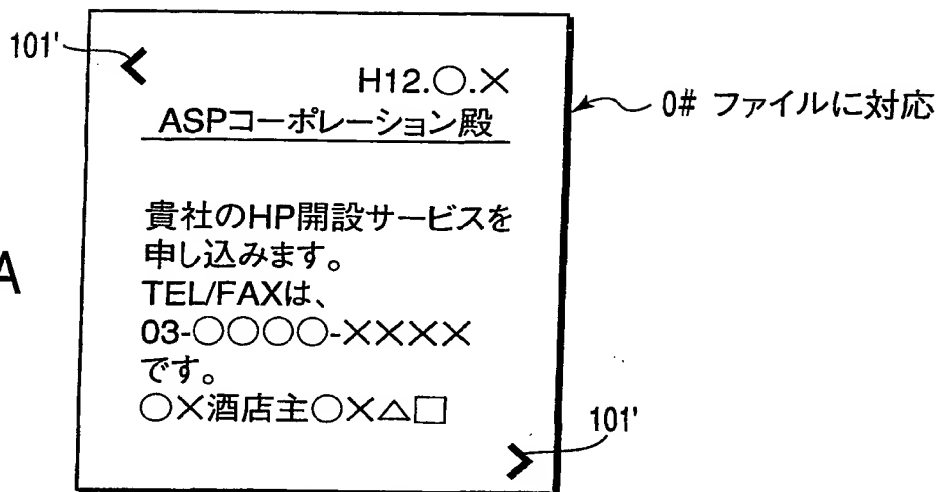


FIG. 7B

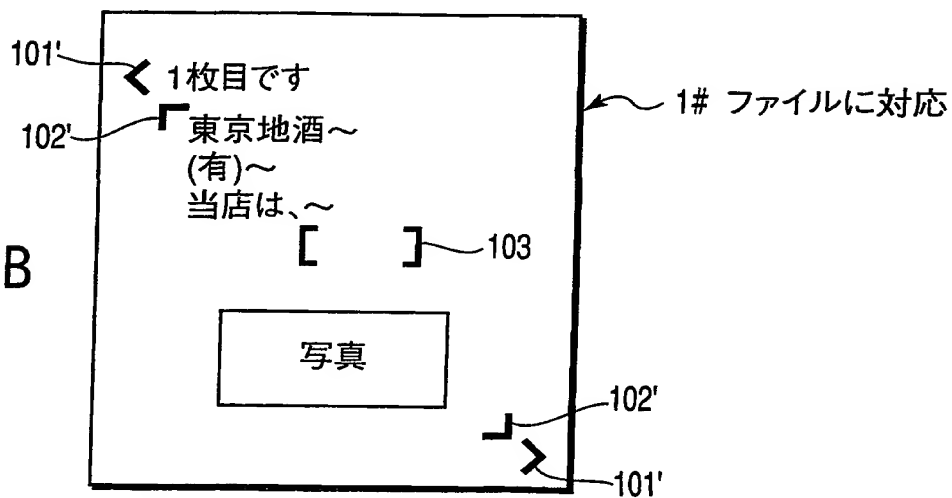
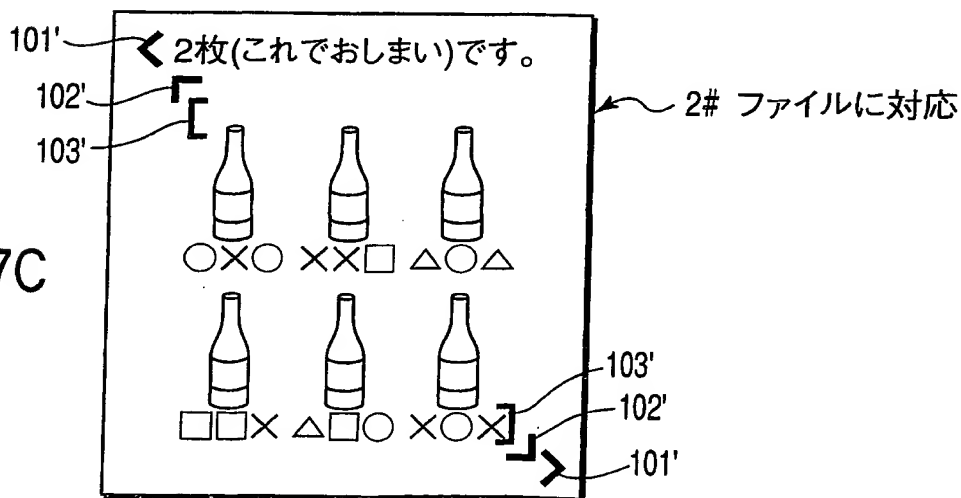


FIG. 7C



7/10

○×酒店殿 H12.○月×日

ASPコーポレーション(株)

現在開設している貴殿のホームページ 1 は
以下です。

1/3

東京地酒が数多く揃っている!

(有)○×酒店

当店は、～

です。

写真

〒○○○○○-○○○○○
東京都港区○○××-□□-△△
TEL 03-3502-××××
FAX 03-3502-□□□□
URL: <http://www.□×.co.jp/>
E-mail: ○×.@ASP.co.jp

FIG. 9

8/10

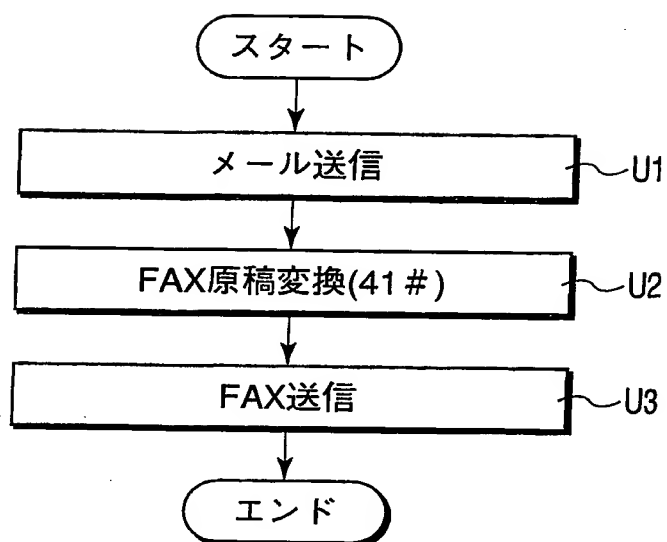


FIG. 10

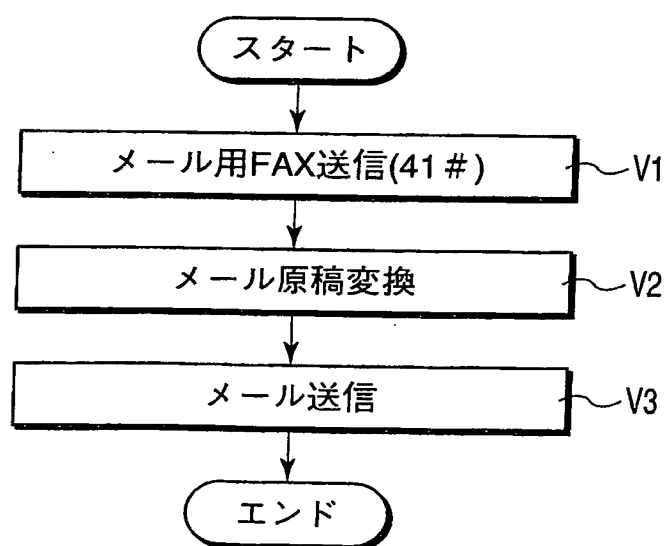


FIG. 11

9/10

Subject: ○○○○○○○○○○
 Date: ××××××××××
 From: <○×○×@×××.co.jp>
 To: <○×.@ASP.co.jp>

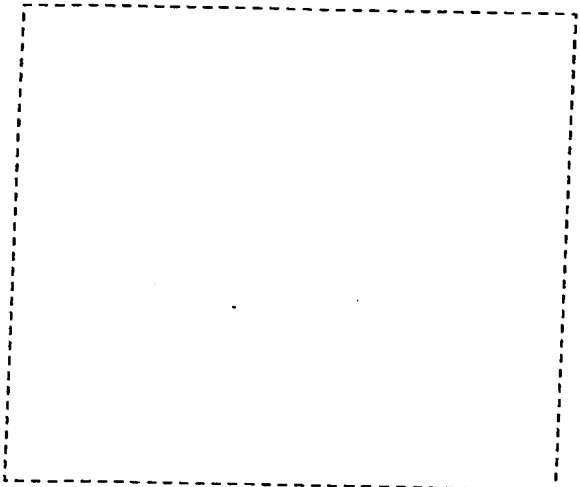


FIG. 12

用件: ○○○○○○○○
 日付: ××××××××
 送信者: ○×○×様(メールアドレス○×○×@×××.co.jp)
 ○×酒店 殿

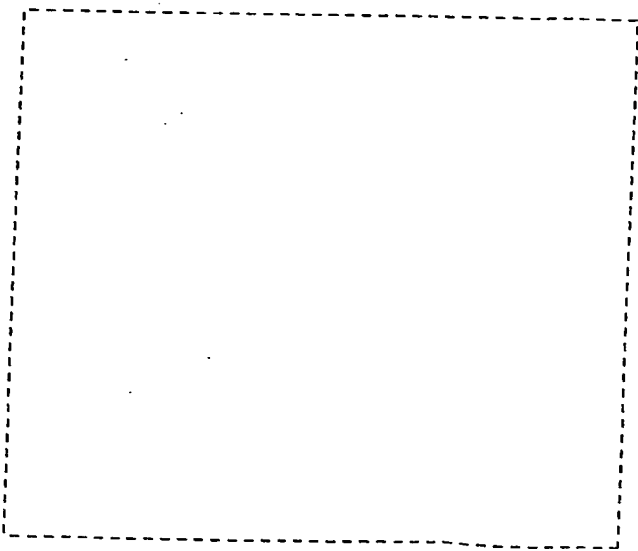


FIG. 13

10/10

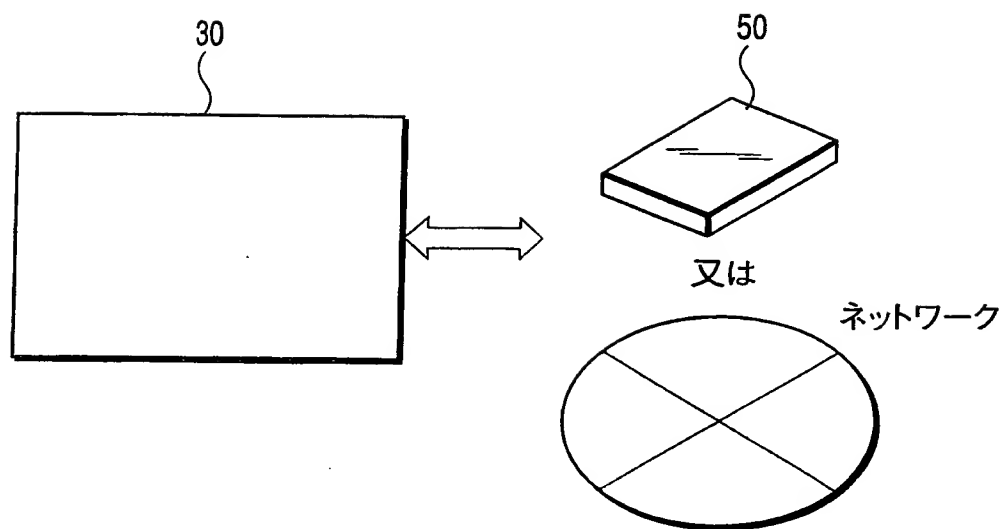


FIG. 14

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/06579

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
Int.Cl.⁷ H04N1/00, G06F17/30

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl.⁷ H04N1/00, G06F17/30

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1926-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2000
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2000

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 11-110534 A (NKB K.K.), 23 April, 1999 (23.04.99) Full text; Figs. 1-12	1-6, 9
Y	Full text; Figs. 1-12 (Family: none)	7, 8, 10
Y	JP 3059894 U (Hammock Corporation), 07 April, 1999 (07.04.99) Par. Nos. [0012]-[0030]; Figs. 1-5 (Family: none)	1-10
Y	JP 10-173806 A (Hitachi, Ltd.), 26 June, 1998 (26.06.98) Full text; Figs. 1-18 (Family: none)	1-10
Y	JP 11-98179 A (Ricoh Company, Ltd.), 09 April, 1999 (09.04.99) Full text; Figs. 1-20 (Family: none)	1-10

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.
 ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier document but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
30 November, 2000 (30.11.00)Date of mailing of the international search report
12 December, 2000 (12.12.00)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/06579

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 11-8747 A (Happy Net K.K.), 12 January, 1999 (12.01.99) Par. No. [0020]; Fig. 3 (Family: none)	8
Y	JP 2000-125069 A (NEC Eng. Ltd.), 28 April, 2000 (28.04.00) Full text; Figs. 1-5 (Family: none)	1-10

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))
Int. Cl⁷ H04N1/00, G06F17/30

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))
Int. Cl⁷ H04N1/00, G06F17/30

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1926-1996年
日本国公開実用新案公報 1971-1996年
日本国登録実用新案公報 1994-2000年
日本国実用新案登録公報 1996-2000年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP, 11-110534, A (株式会社エヌケービー) 23. 4月. 1999 (23. 04. 99) 全文, 第1図-第12図	1-6, 9
Y	全文, 第1図-第12図 (ファミリーなし)	7, 8, 10
Y	JP, 3059894, U (株式会社ハンモック) 7. 4月. 1999 (07. 04. 99) 段落番号【0012】-【0030】, 第1図-第5図 (ファミリーなし)	1-10

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献
「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日
30. 11. 00

国際調査報告の発送日
12.12.00

国際調査機関の名称及びあて先
日本国特許庁 (ISA/JP)
郵便番号100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)
堀井 啓明

5V 9245

電話番号 03-3581-1101 内線 3571

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP, 10-173806, A (株式会社日立製作所) 26. 6月. 1998 (26. 06. 98) 全文, 第1図-第18図 (ファミリーなし)	1-10
Y	JP, 11-98179, A (株式会社リコー) 9. 4月. 1999 (09. 04. 99) 全文, 第1図-第20図 (ファミリーなし)	1-10
Y	JP, 11-8747, A (ハッピーネット株式会社) 12. 1月. 1999 (12. 01. 99) 段落番号【0020】, 第3図 (ファミリーなし)	8
Y	JP, 2000-125069, A (日本電気エンジニアリング 株式会社) 28. 4月. 2000 (28. 04. 00) 全文, 第1図-第5図 (ファミリーなし)	1-10

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER: _____**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)